

2023年12月31日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第39号(通算3371号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)



さいまつれいはい
歳末礼拝

こうたんせつだい しゅじつれいはい
(降誕節第1主日礼拝)



《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 イザヤ書 11章 6節

さんびか 1945年版410番「鳴れかし鐘の音」(©著作権消滅)

さいまつ もくそう 「この一年を振り返って」

リタジー さんびか 21-469番「善き力にわれかこまれ」(©教団出版局)

さんびか 『こどもさんびか改訂版』99番「ふるいものはみな」(©教団出版局)

しゅいの
主の祈り

たんじょうしゃしゆくふくしき
誕生者祝福式 (*)

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

ささげもの
献げ物 (**)

はけん遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆくふく
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく 報 告 (8頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで今年度12月までにお生まれになった方をお祝いします。

ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

** 「献げ物 (献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

まね ことば
招きの詞 イザヤ書 11章 6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

おおかみ こひつじ
狼は小羊と共に宿り

ひょう
豹は子山羊と共に伏す。

わかじし は
子牛と若獅子は共に草を食み

小さな子どもがそれを導く。

歳末の黙想「この一年を振り返って」(交禱と賛美)

◆はじめに

司式者

全てを創られた神と、全てを大切にされるイエス・キリストと、全てを守られる聖霊と共にあって。アーメン。

年の瀬のこの礼拝を、「私は世の光である」(ヨハネ8:12)と言われる方と共に祝いしましょう。私たちがその方の光の中に生かされている、ということをお願いしましょう。

この一年の間に私たちが経験したことを全て、神様の前に持ち来たり、この方の光の前に、私たちの全てを差し出しましょう。

クリスマスは、大いなる神の愛が私たちに示された夜です。クリスマスに人間となった神は、この世界の暗闇に光をもたらしました。

(中央のロウソクに火を灯す)

新しい年を迎えるにあたり、過ぎゆく年を省みましょう。

この一年は、どのような年でしたでしょうか？

何かし残したことはありますか？

どのような経験をされたでしょうか？

またその経験は、私たちにとって無くてはならないものでしたでしょうか。

新しい年を迎えるにあたり、ロウソクを灯し、過去のことを振り返り、自分自身の、また私たちの過去の記憶を呼び起こします。

◆お祈り

みんなで

神様、私たちは祈ります。私たちが、命の源である、この世界と私たちをお創りになったあなたへと立ち帰ることができますように。そしてこの社会の中の様々

なひずみが癒いやされますように。またあなたが望んでおられるように、私たちがより人間的になることができますように。私たちをあなたから引き離したり、お互いに憎しみ合い、傷つけ合い、見知らぬ者としてたりする力から、私たちを助けてください。

全てのものを守られる聖霊によって、私たちを隣人りんじんと共に生きる者としてください。アーメン

◆交唱（リタジー）

（1本目のロウソクに火を灯す）

司式者

このロウソクに火を灯し、今年これまでに新たに誕生した命、子どもたちのことを思い起こします。

すべての子どもが大切にされるように。とりわけ爆弾の飛び交う戦禍の中、また病や貧困の中で困窮している子どもたちの命が、今日一日も守られて明日に向かって成長することができますように。

この光は私たち自身をも照らしています。

神は言われました。

「恐れるな。私があなただを贖あがなった。／私はあなたの名を呼んだ。

あなたは私のもの」（イザヤ書 43 章 1 節）

（黙禱）

賛美歌『讚美歌 21』 469 番「善き力にわれかこまれ」（1 節）

1 善よき力ちからに われかこまれ、 守まもりなぐさめられて、
世よの悩み 共ともにわかち、 新あたしい日ひを望のぞもう。

（2本目のロウソクに火を灯す）

司式者

このロウソクに火を灯し、今年これまでにパートナーとして共に生きる新たな歩みを始めた方々や、また何年間、何十年間という年月を迎えた方々のことを思い起こします。

この光は、その人たちが共に生きている歩みを照らします。

時にはお互いの思いがすれ違ったり、衝突したりする時がありながらも、また時にはお互いの習慣を変えたり、困難な時には重荷を支えあったりし

ながら、これからもお互いに信頼を抱くことができるように、とこの光は照らしています。

「神は人を大切にされる方です。ずっと人を大切にしている人は、神の内にとどまっており、神もその人の内にとどまっています」(ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節)

(黙祷)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(2節)

2 過ぎた日々の 悩み重く なお、のしかかるときも、
さわぎ立つ 心しずめ、 みむねにしたがいゆく。

(3本目のろうソクに火を灯す)

司式者

このろうソクに火を灯し、今年これまでにこの地上での歩みを終えた方々、私たちがその死を悼む方々のことを思い起こします。

この光は、永遠の故郷へと至る、その方々の道を照らします。思いがけない突然の別れに戸惑ったこともありました。また人知れず、誰にも知られないまま、見つけられないままに、この世を去った方々も多くおられました。それらの方々は今、命の源である神の御許におられます。

「私たちは、生きるとしたら主のために生きるものであり、また、死ぬとしたら主のために死ぬのです。生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです」(ローマの人々への手紙 14章8節)

(黙祷)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(3節)

3 たとい主から 差し出される 杯は苦くても、
恐れず、感謝をこめて、 愛する手から受けよう。

(4本目のろうソクに火を灯す)

司式者

このろうソクに火を灯し、今年これまでの間に、そして今この時も、戦禍の中に生きなければならない人々のことを思い起こします。巨大な暴力によって命を奪われ、また脅かされ、苦しめられ、絶えず不安の中にある方々、絶え間なく血と涙を流している方々、子どもたちのことを思い起こします。

苦し過ぎる困難、とても感謝して受け止めることなど出来ない現実、不安と絶望に押しつぶされそうになっている方々のことを思います。

神様、一刻も早く無益な争いに終止符を打ち、お互いに傷つけ合う憎しみの連鎖から解放して下さい。神様、その方々の隣にあなたが確かにいてください、そして確かなる慰めと希望を与えてください。そのために私たちがなすべきこと、私たちに出来ることをお示してください。

「私は世の終わりまで、いつもあなたたちと一緒にいる」(マタイによる福音書 28章20節)

(黙祷)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(4節)

4 主は再び 日の光と 喜びを贈られる

望みを主の手にゆだね、 来たるべき朝を待とう。

(5本目のロウソクに火を灯す)

司式者

このロウソクに火を灯し、私たちは今年これまでに経験した数々の大変だった出来事を思い起こします。

良いこと悪いこと、嬉しいこと悲しいこと、大きなこと小さなこと、様々なことがありました。

この光は、神様から与えられる道を喜び、喜ばしいこともその他のことも、私たちを慰める方からの賜物として、受け取ることができるよう、私たちを照らします。今はそれが出来なくても、いつか出来るようになるかもしれない、その希望を持たせてください。

「あなたたちは主と一体の者として、いつも喜びをもってください。重ねて言います。喜びをもってください」(フィリピの人々への手紙 4章4節)

(黙祷)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(5節)

5 輝かせよ、主のともし火、 われらの闇の中に。

主はわれらを導いて ひとつの群れとされる。

(6本目のロウソクに火を灯す)

司式者

このロウソクに火を灯し、今年、その命を懸けて、自由を守り、和解と平和を達成しようとして来た方々を思い起こします。暴力やハラスメント、差別や優越感、憎しみと劣等感に満ち満ちたこの世界の中で、それらによらずに、生き、働いて来た方々が確かにこの世界にはおられます。今、それらの方々のことを思い起こさせてください。

様々な苦しみの中にありながらも尚、たとえ持てる力は小さくても、望みを失わなかった方々のために、この火は今も燃えています。それは多くの人が、神様の約束に希望を置いているからです。

「あなたがたのために立てた計画は、私がよく知っている――主の仰せ。それはあなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない」(エレミヤ書 29章11節)

(黙禱)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(6節)

6 静寂だけが 広がる時 澄んだ響きを聞こう
造られたものが歌う 絶え間ない歌声を

(7本目のロウソクに火を灯す)

司式者

このロウソクに火を灯し、私たちは強さも弱さも、不安も希望も、私たち一人一人を心に留めてくださる神様のみ前に思い起こします。

この光は、私たちが喜んでたどってきた道を照らします。そして、これまで行かなかった道へと、私たちを導きます。

この光は輝き続け、私たちがそれぞれ、来る年も、次のように言うことができるように、私たちを励まします。

「あなたの道を主に任せよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」
(詩編 37編5節)

(黙禱)

賛美歌『讚美歌21』469番「善き力にわれかこまれ」(7節)

7 善き力に 守られつつ、 来たるべき時を待とう。
夜も朝もいつも神は われらと共にいます。

◆お祈り

司式者 祈りは私たちの生き方を変えることができます。そのことに信頼して、
共にお祈りしましょう。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、私たちは今、過ぎ去ろうとしているこの1年を省み、私たちが
たどってきた歩みを振り返り、あなたに感謝をささげます。

私たちが経験した沢山の驚くべきことのゆえに、笑いと陽気さのゆえに、
喜びの機会のゆえに、私たちを幸せにした瞬間、大きなこと、小さなことの
ゆえに。

どうか、私たちを助け、そのような時が、あなたから出たものであるとい
うことを認めさせてください。そのような素晴らしい数々の思い出を大切
にして、あなたに感謝をささげることができますように。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、私たちはまた、過ぎ去ろうとしているこの1年に起こった
悲しいことや、私たちの生活の中で、完成されなかったこと、達成できな
かったことの数々を思い起こします。

この世界には重すぎる課題が多く、私たちの小さな肩ではそれらはとて
も担うことが出来ませんでした。また私たちには共に旅を始めた仲間がい
ましたが、途中で別れなければならないこともありました。それは誤解のゆ
えであったり、病のゆえであったり、死別のゆえであったりしました。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、私たちは、人生という旅路を独りで歩むことはできません。
私たちと共に旅する、旅の仲間のために祈ります。

私たちが共に一つの家族であるという感覚を持つことができるように、
また、お互いに大切にしているということを感じることができるように。
とりわけ、この地にあって、差別や偏見、疎外に直面している方々と、私た
ちが一つになることができますように祈ります。

私たちが新しく出会うまだ知らない人たちを、怖がる必要がないという

ことを私たちに学ばせてください。見知らぬ相手として不安に思うのではなく、あなたがすべての人を大切にされているゆえに、その方々を支えることができますように。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

(参照：「大晦日のメディテーション」『世界の礼拝』205-211頁)

主の祈り

ししきしゃ
(司式者)

わたしはみんな神様の子どもです。神様に信頼して、
イエス様が教えられたといわれるお祈りを、共に祈りましょう。
それぞれの方がお祈りしやすい言葉で、お祈りください。

(以下、みんなで)

てん ちち
天におられるわたしたちの父よ、

な せい
み名が聖とされますように。

くに き
み国が来ますように。

てん おこな
みこころが天に行われるとおりに、

ち おこな
地にも行われますように。

ひ かて
わたしたちの日ごとの糧を

きょう あた
今日もお与えください。

つみ
わたしたちの罪をおゆるしくください。

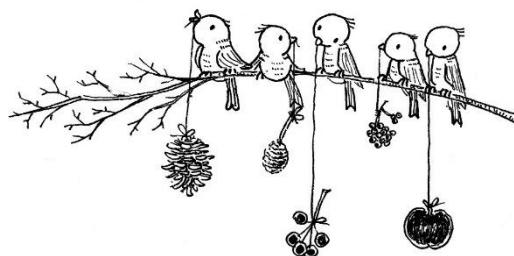
ひと
わたしたちも人をゆるします。

ゆうわく
わたしたちを誘惑におちいらせず、

あく すく
悪からお救いください。

くに ちから えいこう えいえん
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン。 (日本聖公会・カトリック教会共同訳)



《先週のメッセージより》12月24日 クリスマス礼拝

「夜通し働くあなたへ」より

水谷憲牧師

聖書 ルカによる福音書 2章1-20節

キリストは、いわれのない侮辱を受け誤解されのけ者にされている人々に目を留め、寄り添われた方だった。聖書によると、その救い主の誕生を初めに知らされたのは羊飼いたち。彼らは当時軽蔑の対象とされていた人々だった。彼らは真面目に一生懸命生きているようには見えていなかった。彼らは昼夜問わず羊の世話に追われていたために、当時の律法の定める「正しい」生活などできようもなかったのに。当時の人々の生活に密着した重要な家畜である羊を、寝る間もなく飼育しているにもかかわらず、彼らは誰からも感謝されるどころか、楽な仕事だ、不規則な生活をして神に背いている、しょもない奴らだなどと侮辱されていたのだ。

そんな「夜通し働く」羊飼いたち—それは、誰にも気付かれず、誰にも感謝されることもないままに自分を犠牲にしている私たちの姿とも重なる—が天使から知らせを受ける。世の中すべての人があなたを理解せず、感謝することもなく、むしろあなたの落ち度をあげつらって責め、陰口を叩き、あるいはあなたの存在を無視しようとも、私だけは知っている。あなたがどれほど自分の気持ちを押し殺しながら一生懸命人のために身を削っているかを。私だけは知っている。周りから誤解されていることでああなたがどれほど傷つき、悔しい思いをし、涙を飲んでいるかを。私だけは知っている。一生懸命仕事をして、一生懸命家事をこなし子育てをして、一生懸命誰かのお世話をしても、誰かの相談を誠実に受けても、評価されるどころか、そんなこと当たり前だろと思われる。むしろ足りなかった点ばかりやり玉に挙げられる。自分がいかに多くのものを犠牲にして努力していても、誰もその笑顔の裏にあるしんどさに気づいてくれない。そんなあなたのために、今日救い主がお生まれになったよ！

クリスマスに生まれたキリストは「あなたのことを神様は見ている」ことを示すため、神様が下さった宝物。クリスマスは、私たちの隠れた痛みや悲しみをわかって下さる救い主、キリストが生まれた日。そして隠れた痛みや悲しみを抱えながら毎日を送るそんな私たちにこそ、真っ先に天使たちはその喜びの知らせを持ってきてくれるのだ。神様が「夜通し働く」私たちに、真っ先に知らせてくれた救い主の誕生を、私たちは喜んで受け止め、優しい気持ちでうれしいクリスマスを迎えたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (12月24日) クリスマス礼拝

礼拝出席 大人7名 献金 大人4,000円 中継視聴者数3回 感謝
 さんが久しぶりに、来会されました。

◎次週 2024年1月7日(日) 新年礼拝(降誕節第2主日礼拝)

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2章11-13節
 聖書 ヨハネによる福音書 1章29-34節
 メッセージ 「私の神さま」水谷憲牧師
 賛美歌 54-367番(©P.D.)、21-254番(©教団讃美歌改訂委)、
 21-358番(©教団讃美歌委)、21-524番(P.D.)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれ方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・先週12月25日のクリスマスには、釜ヶ崎・いこい食堂にて諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当の配付が行われました。社会福祉法人日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)からは、65食のお弁当をお届け致しました。
- ・今年度の「クリスマス献金」を集めています。献金先の6つの団体については別紙にそれぞれの団体のウェブサイトなどを掲載してありますので、ご参照ください。
- ・1月8日(月)14時~16時に、大阪クリスチャンセンターにて第42回大阪教区在日韓国朝鮮人問題シンポジウム「関東大震災 朝鮮人虐殺から100年『日本社会は変わったのか』」が開催されます(主催:大阪教区)。前半は映画「隠された爪痕」(呉充功監督)の上映があり、後半は大阪公立大学教授の伊地知紀子さんによる講演会があります。参加費は無料で、事前申し込みも不要ですので、どなたでもどうぞご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2024年 1/7	水谷牧師	新年礼拝・考える会
1/14	牛田牧師	おにぎり支援
1/21	水谷牧師	誕生者祝福式
1/28	武久牧師 (住道一粒教会)	河内地区講壇交換礼拝 14時~ 河内地区女性会 (於:住道一粒教会)

第42回大阪教区
在日韓国朝鮮人問題
シンポジウム



関東大震災 朝鮮人虐殺から100年 「日本社会は変わったのか」

1部 上映会『隠された爪痕』
監督: 呉 充功 上映時間: 60分

2部 講演会
伊地知紀子さん
(大阪公立大学教授、朝鮮学校無償化連絡会大阪共同代表)

日時 2024年1月8日(月・休日)
午後2:00~4:00
会場 大阪クリスチャンセンター1Fホール
〒540-0004 大阪府中央区玉造2丁目26-47
主催 日本基督教団大阪教区
TEL 06-6761-8562

実行委員会構成
社会委員会、日韓宣教協約特別委員会、
キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター



●近隣鉄線玉造下車徒歩10分
●地下鉄丸太町線玉造下車徒歩10分(東口を出て徒歩で約5分)
●近隣町交差点をレンガの歩道沿いに北へ約30m